

国産高値で野菜増加

キャベツ3倍、ハクサイ10倍

財務省の貿易統計によると、昨年（1月～12月）の生鮮青果物輸入量は、国産の品薄高値で野菜が2割増加、果実も大半の品目で増加した。

ン、イチゴを除く全品目で増加。とくにニュージニア産のリンゴや、オーストラリアおよびペルー産のブドウが大幅に増加した。近年は消費者に定着してきたことに加え、国産果実の高値推移が後押しした模様だ。

このような状況の下、

とくに野菜は主力のタマネギが13・2%、ネギも13・4%増加したのをはじめ、キャベツが3倍以上、ハクサイも10倍以上に。シヨウガも25・6%増加と、業務・加工用に利用される品目が軒並み大幅に増加している。

果実もレモン、メロ

輸入果実部を果実部に統合し、国産・輸入品を組み合わせるだけでも値頃感のある売場提案をする流通業者も出ている。